



柏崎お仕事体験塾実行委員会 2024年 活動報告書



1 実施に至る経緯

お仕事体験塾の始まりは 2013 年「柏崎の子どもたちは将来の夢をもっている子どもが他地域に比べて少ない。なんとか子どもたちに将来を考えるきっかけを作れないか。」という、当時の柏崎市教育委員会教育長からのご意見を受け、2014 年に「柏崎お仕事体験教室」が生まれたことがきっかけです。

2016 年には「お仕事体験塾実行委員会」が独立の組織として誕生。「お仕事体験教室」から「お仕事体験塾」へと名称変更し、現在まで毎年 8 月第 3 日曜日（2020 年は新型コロナウイルスの影響で中止）に柏崎市内にて開催を続けてきております。

これまで様々な形式で開催してきたお仕事体験塾ですが、過去の開催内容と結果報告を考慮したうえで、「子どもたちがしっかりと学び、大人の想いにふれ、未来の柏崎刈羽を創る人材を育たるため」に開催していこうという結論に至っております。

これらを踏まえた上で、各体験を 1 時間と設定し、子どもたちが「自分の将来を考え、学びある時間にすること」「柏崎刈羽の大人の想いを子どもたちに伝えること」を主眼に置いた開催形式として実施させていただきました。

2 お仕事体験塾の必要性

以前から柏崎市においては人口の減少やそれとかかわる若者の働き手不足が喫緊の課題です。その中で私たちは、学校の先生方や教育委員会の方々と意見交換を進めた結果、職業体験を通して柏崎刈羽の様々な魅力ある職業に就く素敵な先輩と実際にふれ合う機会を作っています。

柏崎刈羽で働く大人の想いにふれることで、地元への愛着や誇りをもちながら、未来の柏崎刈羽を創る人材になってもらいたいと願います。そして、「未来の柏崎・刈羽を創りたい」と願う心が、社会人になってからの地元就職や、UI ターンのきっかけに、未来の柏崎刈羽につながるものと考えています。

また、本年で 10 回目の節目を迎えた本事業ですが、参加した子どもの保護者、出店者からお仕事体験塾は非常に有意義なので今後も継続してほしいとの意見が多数あり、柏崎刈羽の未来のために、本事業が地域の皆様にとってかけがえのない事業となってきました。

3 お仕事体験塾のねらい

「働く大人の想いにふれ、未来を創る人材を育てる」

- ・望ましい勤労観・職業観を身に付け、生涯にわたり生きる力を育む。
- ・出会った様々な大人の背中を見せることで、柏崎・刈羽を愛する心を育てる。
- ・地元の事業所が連携して未来を担う子どもたちの育成をする。

4 2024 年の主な活動

- (1) 体験型でのお仕事体験塾の実施
- (2) お仕事動画撮影・編集・ホームページでの公開（継続事業）
- (3) お仕事体験塾への賛同者を募る活動（協力金募集）

5 お仕事体験塾実行委員会 年間の活動内容

3 月	27 日	(水)	子ども夢基金 事業費支援内定
5 月	20 日	(月)	協力事業所の公募（柏崎日報 掲載）
5 月	20 日	(月)	協力事業所の公募（FM ピッカラ 放送）
6 月	20 日	(木)	出店事業所内定 & 各事業所と事業内容の打合せ
7 月	16 日	(火)	チラシ配布開始（小学校 4・5・6 年生）
7 月	22 日	(月)	申込締め切り（事前申し込み 120 名）
7 月	26 日	(金)	申込者全員の受け入れ＋追加事業所募集を決定
8 月	4 日	(日)	追加出店者決定
8 月	6 日	(火)	協力事業所への説明会（会場：第一中学校）
8 月	10 日	(土)	追加出店者決定 出店者募集締め切り
8 月	18 日	(日)	お仕事体験塾の事業実施
10 月	20 日	(日)	報告書完成 & HP に掲載

6 お仕事体験塾 当日の内容

- (1) 開催日時

2024 年 8 月 18 日（日） 8：30 ～ 16：00

- (2) 会場

柏崎市立第一中学校

- (3) 参加対象

柏崎市、刈羽村の小学校 4・5・6 年生

- (4) 参加児童生徒数

事前の申込者数 : 120 名 当日の体験者数 : 115 名

- (5) 当日の流れ

8：30 ～ 8：45	受付
8：45 ～ 9：00	始めの会
9：00 ～ 9：20	お仕事タイプ診断
9：20 ～ 9：40	抽選（1 回目）
9：40 ～ 10：40	体験（1 回目）
10：40 ～ 11：00	抽選（2 回目）
11：00 ～ 12：00	体験（2 回目）
12：00 ～ 13：00	お昼休み
13：00 ～ 13：20	抽選（3 回目）
13：20 ～ 14：20	体験（3 回目）
14：20 ～ 14：40	抽選（4 回目）
14：40 ～ 15：40	体験（4 回目）
15：40 ～ 16：00	終わりの会

7 お仕事タイプ診断

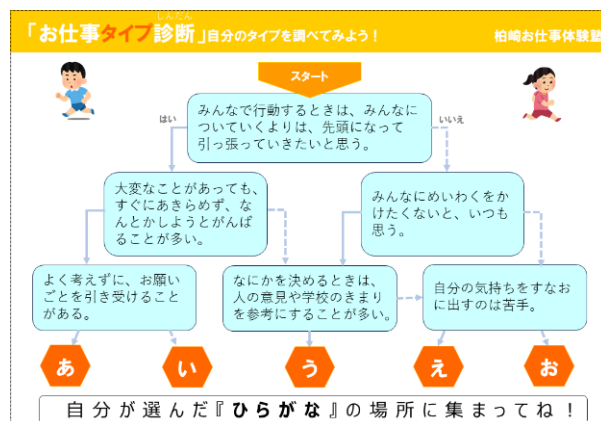
昨年作成したお仕事タイプ診断の用紙を参考に、自分の職業興味が分かるお仕事タイプ診断を始めの会の冒頭に約20分程度導入しました。導入した理由は主に2つあります。

1つ目は、参加した子どもたちが体験する職業を選ぶにあたり、特定の職業に子どもたちが集中し、希望した職業を体験できない子どもが出ることへの緩和のためです。職業タイプ診断を行うことで、体験したいと思う職業が分散することを想定しています。

2つ目は、友達と一緒に参加したことにより、周りに合わせて職業を選んでしまう子どもたちを自分の興味に合わせて職業選択をしてもらうためです。子どもたちが自分の適性を理解し、一人一人が自ら職業選択をするきっかけにしてもらいたいと思っています。

本年は初めての取り組みだったのでいろいろと不具合や問題点が見つかりました。「出店していただいた方々によりそう形での開催ができなかったこと」「子どもたちの動線に改善の余地が見られたこと」「タイプ診断の結果がそれぞれの保護者に伝わらなかったこと」などが上がりますが、今後はより良い形で実施できるようにしていきたいと思っています。

お仕事タイプ診断は自分の無自覚な興味・関心を客観的に知るためのものです。お仕事タイプ診断を通じて子どもたちが特定の職業だけに興味をもつのではなく、自分の適性に合った職業を知ること視野を広げ、多くの職業について知ってほしいと願います。そこから、柏崎刈羽にある様々な職業に関心を持ち、将来を考えるきっかけにしてほしいと願っています。



A 熱中する人 新しいことにチャレンジするのが好き 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など 【アパレル】デザイナー・スタイリスト・モデル・コーディネーター・美容師・デザイナー など	B 達成感を求める人 やるからには成功したい 【美術】アニメーター・画家・マンガ家・作家・写真家・漫画家・グラフィックデザイナー・ミュージシャン など 【IT】プログラマー・システムエンジニア・プログラマー・システムエンジニア・プログラマー・システムエンジニア など 【情報】システムエンジニア・プログラマー・システムエンジニア・プログラマー・システムエンジニア・プログラマー など	C 挑戦する人 人に勝つのが好き 【社会】政治家・経営者・経営者・経営者・経営者・経営者 など 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など
D なんでも食いたい人 自分にも他人にも、理想を追求する 【食料】料理家・調理師・料理家・調理師・料理家・調理師 など 【ファッション】デザイナー・スタイリスト・モデル・コーディネーター・美容師・デザイナー など 【ヘルス】先生・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など	E 人を助ける人 自分のことより人のことが気になる 【社会】政治家・経営者・経営者・経営者・経営者・経営者 など 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など	F 定家な人 任せられた責任を重たないと気がなる 【社会】政治家・経営者・経営者・経営者・経営者・経営者 など 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など
G 誰かの人 いつも冷静に考える 【社会】政治家・経営者・経営者・経営者・経営者・経営者 など 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など	H 個性のある人 人と同じことが嫌い 【社会】政治家・経営者・経営者・経営者・経営者・経営者 など 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など	I 平和を大切に人 ゆったり落ち着きがある 【社会】政治家・経営者・経営者・経営者・経営者・経営者 など 【スポーツ】プロスポーツ選手・スポーツ用品店員・運動会・スポーツ関係者 など 【教職】先生・教員・看護士・看護士・看護士・看護士・看護士 など

気になるお仕事はあったかな？わからないことは自分で調べたり、おとなに聞いてみよう。

8 抽選会について

現在子どもたちがどの職業を体験するかについては、各ブースの体験人数の上限を設定し、各体験前に希望をもとにした人数調整を行い、体験人数の上限を超えた場合にはその都度抽選し、各ブースの体験者を決定するという方式をとっています。

- ① 参加人数の最終確認 → ② 体験人数上限の設定 →
③ 希望をもとにした人数調整（抽選） → ④ 各ブースでの体験

この方式は 2023 年より導入し、各体験の直前に 20 分程度で抽選を行っています。この方式を導入するに至った経緯は以下のとおりです。

まず、新型コロナウイルス禍以前は体験人数や体験時間を統一せずに実施しており、子どもたちが自由にやりたい体験を決めて楽しむことができる一方、人気のブースに子どもが集中していました。また、それぞれの体験時間が違うため、遊びの要素や楽しさを優先したブースも多く、「大人の想いにふれる」という目的が十分に達成される状況ではありませんでした。

次に、新型コロナウイルスの流行禍では、すべての体験を「事前予約制」および「体験人数上限に達したら締め切り」という方式での実施を試みましたが、事前に申込みの受付ができるため、当日に人気が集中することはないのですが、事前の申込み段階で落選してしまい、そもそも体験に来ない子どもが多数おり、申込みの少ないブースの運営には苦勞する状況がありました。

これまでの経験を経て 2023 年より導入した方式が、各体験の時間を 1 時間と設定し、全体の参加者数に応じて各ブースの体験人数上限を決定したうえで人数調整および抽選を行うという流れです。この方式のメリットは、各体験の人数を均等に割り振りできることと、各職業の大人の想いに十分にふれる機会をもてることです。が、一人当たりの体験回数が 4 回と限られてしまことは残念なところです。

いずれも 100 点満点の方式ではなく、長所・短所がありますが、お仕事体験塾実行委員会としては「働く大人の想いにふれ、未来を創る人材を育てる」ためには、現状の抽選方式が一番であると考えておりますが、今後もより良い形で実施ができるように改善を続けていきます。



9 各ブースの当日の様子

調理師：THERE IS NOEND 様

調理師で野菜ソムリエでもある中村さんから、ナポリタン作りを通じて、自分が食べておいしいと思うことが大事だけれど、それ以上に食べてもらう人が喜んでくれるように、心を込めて、ひと工夫しながら作るとよいと教えてもらいました。とてもおいしくできたので、「おうちの人にも作ってあげたい！」とやる気を見せてくれた子どもたち。

柏崎刈羽には、ナポリタン作りで使ったトマトや玉ねぎのほかにも、おいしい地場産の農作物がたくさんあります。これらの食材を作る人とつながり、食べる人に喜んでもらう「地産地消」を大切にして、地域を盛り上げたいと話してくれました。中村さんは「自分の好きなことを仕事にするとがんばれるので、『将来の夢』に向かって、今から好きなことをとことんやってね！」と熱いメッセージを子どもたちに送ってくれました。



「パスタをお湯に入れるときは・・・」
「なるほど、そうやるんですね。」



「なるべくおいしく見えるように・・・」
「おいしそうですね～」

フローリスト：りとるがぁでん萌 flower & café 様

花は、人の心に「うるおい」「いやし」「楽しさ」を届けてくれます。生花は、夏の暑さに弱く、なかなか飾る機会は少ないですが、暑い夏でも楽しめるよう、ドライフラワーで、ガーランド（壁飾り）を作りました。どこに何の花を入れていくか、バランスはどうしたらよいか、思い思いに制作する子どもたち。「すてきだね」「作ることを楽しんでね」とフローリストの中村さんからアドバイスをもらいながら夢中になって取り組んでいました。

できあがったガーランドは、おしゃれで、かわいくて、すてきな、世界でたった一つのものとなりました。初めての経験で不安そうだった子も、できあがりを手にと友達と見せ合ったときには、すてきな笑顔でした。お店では、お客さんと会話をしながら、お花を買う人、贈られる人に喜んでもらえるようにお花を束ねているそうです。花を受け取った時の笑顔と「ありがとう」の言葉がやりがいにつながっていると教えてくれました。



ガーランドの作り方を説明している様子



お花を一つのガーランドにつなげている様子

介護士(A)： ツクイ柏崎新田畑 様

「部屋がお風呂に大変身！訪問入浴体験！」をテーマに、自宅でお風呂に入れることを学びました。浴槽の組立、お湯張り(当日は水)、マネキンを使用しての入浴方法、排水、解体までの一連の作業を体験し、子どもたちからは、「見ていると簡単そうだが、体験すると大変さがわかった！」「誰かの支えになることはよいと思った！」などの意見が上がりました。

体験後は介護の仕事に興味をもち、大変な仕事だけど、人のためになり、やりがいがある仕事だと感じ、改めて介護の仕事の大切さを知り、家族の支えになりたいと思う、よい時間となったと感じました。



マネキンを使用して入浴方法を説明している様子



「こうやって入れてあげるんだよ。」
「はい。わかりました。」

介護士(B)： 社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会 様

「未来を支える介護の仕事！介護を知ろう！体験しよう！」をテーマにして、介護施設の1日の業務の流れの説明をはじめ、要介護者に対する移動・着替えの介助の他、とろみ剤を使って飲物を飲むという体験をしてもらいました。

要介護者に対する移動では、最小限の力で人を動かす技術を学び、着替えの介助では身体の状態により、着せ方が違うことを学びました。とろみ剤を使用した体験では、飲物や食事にとろみをつけることによって、飲み込む力が弱くなった人でも、安全に美味しく食べたり飲んだりできることを学びました。

体験後は「人の気持ちを考えてやるから、大変だと思った。でも、人を助けられるから頑張れると思う！」など、介護の仕事に興味をもち、家族の住む柏崎で未来を支える介護士として働くきっかけになるのではと感じました。



「車いすを押すときはこんな感じで・・・」
「初めて車いすに乗っています。」



とろみ剤を入れている様子
「これで飲みやすくなるのかな？」

建築士：新潟県建築士会柏崎支部 様

建築士さんらしく、まずは模型の家を建てる体験からスタート。その後、筋交いなどの構造模型を用いながら耐震性の説明をしていただきました。小学生には少々難しい話であったかも知れませんが、子どもたちは、みな真剣に聞いていました。

ブースに準備してくださった、中越地震、中越沖地震、能登半島地震の甚大な被害の写真を見て、地震の多い地域で暮らす上で知っておきたい学びがたくさんありました。

建築士さんは、この地域に住む人たちが安心して暮らせる災害に強い家づくりを目指し、日々働いていることを、子どもたちに知ってもらいたい良い機会になりました。



「ここは、こう折るんだよ」
「はい。やってみます。」



建物の構造についての説明を
しっかりと聞いている様子

パティシエ：(有)綾子舞本舗タカハシ 様

「スイーツ&ベーカリー カフェの魅力を伝えます！」というテーマで、洋菓子職人・和菓子職人だけではなくベーカリー職人やカフェの様子まで、幅広く学ぶことができました。さらに地元を大切にする経営者の思いにも触れながら、「柏崎」と「お仕事」についても考える機会となりました。

パティシエのプチ体験では、柏崎産の米粉を使ったスポンジケーキと柏崎産のいちごを使ったジャムや生クリームを使って、オリジナルのカップスイーツを作りました。パティシエが生クリームを絞る姿を食い入るように見つめていた子どもたち。実際に自分も体験することで、パティシエのすごい技術を実感していました。



パティシエの技術を食い入るように見つめる
子どもたち



「おいしいスイーツって、美しさも大事だよ」
「どんなデザインにしようかなあ」

保育士：新潟県保育士会 柏崎支部 様

「保育士のお仕事とは？」柏崎市で勤務されている保育士の方々から、保育園の様子やお仕事の内容をご説明いただきました。その中で園児たちと一緒にやる体操や、手遊びなどの紹介もありました。また、保育士さんが話す「仕事のやりがいや得られる喜び」についての話を興味深そうに聞いている子どもの様子が印象的でした。

体験後半では、おもちゃ工作や、制作物を用いたゲームを体験しながら、園児が楽しめるような工夫や知恵を学びました。紙芝居の体験では、保育士の方々が園児の興味を引くために場面をゆっくり抜いたり、少し抜いて間を取ったり、いろいろと工夫していることを学びました。また何度も読み込んで、子どもたちがお話の世界に入り込めるようにしていることも知りました。最後は保育士の方々に質問する時間が設けられ、新たな発見ができた貴重な時間になったと感じています。



保育園での一日流れをみんなで聞いている様子



「上手にできたかな？」

「はい。よいうちわができました。パタパタ」

ユーチューバー（動画クリエイター）：ダイスチャンネル 様

ユーチューバーは今やだれもが知っている職業になりました。実際に動画に出ている人が目の前でいろいろと教えてくれるとあって、小学生に人気のあるブースでした。普段から使用している機材を使い、撮影側と出演側に分かれて動画を撮影し、編集で動画をカットしたり、テロップや BGM を付けたりして1本のショートムービーに仕上げるところを見せてもらい、いつも観ている動画が出来上がっていく様子を目の当たりにして、体験した子どもたちはますます興味が湧いたようでした。

質問コーナーでは、どうして東京などへ出ていかないのかという質問に対して、確かに都会の方が仕事は多いが、その時だけ行くことも出来るし、新潟を拠点としているユーチューバーはまだ少ないので、地元でやっていると答えていました。ユーチューバーに限らず、地元には多くの職業があり、都会に出ることが最適解とは限らないということを学んでもらえたと感じました。



1本のムービーを実際に作っているところを見ている様子



「どうして東京に出て行かないんですか？」
「それはね・・・」

自衛隊：自衛隊新潟地方協力本部柏崎地域事務所 様

自衛隊と言えば「災害の時にテレビで見るなんとなくすごい人」というのが子どもたちの印象のようですが、今日はその自衛隊さんが実際に自分にどんなことをしているのかを教えてくれるとみんなワクワクドキドキです。体験では主にロープワークと手旗信号、担架の作り方などを学びました。

体験を通じて多くの子どもたちが「手旗信号は思ったよりも難しかった」「もしもの時に役に立つ知識を教えてもらいました」などの意見をもちながらも、自衛隊の方々のすごさを体感したことで「みんなを助けられるようになりたいと思う」という声もあり、お仕事体験塾を通じて将来の自衛隊員が生まれることを期待しています。



「ロープはここをこう持って・・・」
「難しいんですね～」



手旗信号をみんなでやっている様子

農業用機械販売： ヤンマーアグリジャパン（株）柏崎支店 様

ドローン・草刈り機のラジコン操縦と、自動運転トラクターの運転席に座って直進する体験をしました。農家さんの負担軽減につながる最先端の機械（高額です！）に触れ、子どもたちはビックリしながらも操縦をとっても楽しんでいました。

地域の農家さんからたくさん「ありがとう」と言ってもらえる、誇らしい仕事だということが分かりました。「いろいろな人と関わって、勉強も運動も遊びも全力でやってほしい」とエールをいただきました。お土産に文具やタオルもいただき、使うたびに講師4名のお顔や今日の体験が思い浮かびそうです。



実際に子どもが農業機械を操縦している様子
「あっちのほうにいらっかん。」



農業機械の説明を聞いている様子

書道講師：きらきら書道教室/かな書道教室 様

学校の書写の授業とはちょっと違った雰囲気の中、肩の力を抜いてのびのびと「書」を楽しむ子どもたちの姿がありました。普段なかなか経験できない大きな紙に向かって、表現したいことのイメージを膨らませながら、世界にひとつだけの作品を完成させました。

講師の先生からは、書道教室を開くときの心構えや教える側に立つために必要な学び、講師として生徒に対する姿勢について教えていただき、柏崎で仕事をするということについて、先生の想いにもふれることができました。子どもたちは、講師の先生との対話やふれあいから、先生自身が心から仕事を楽しんでいることを感じていました。



講師先生のお手本
「書きたいもののイメージを広げて・・・」



バスケットボールの楽しさを伝えようと
ポスター作りに挑戦！！

自動車整備士：新潟県自動車整備士柏崎地域協議会 様

柏崎刈羽の整備士さんが6名も来てくださり、①タイヤの空気圧を計測し空気を入れる②タイヤの溝を図る③タイヤ交換をする、という「3つの試練」を体験しました。「155/65R14」とタイヤに表示がある場合は、「14がインチ数」であることなど、タイヤの基本知識を教わりました。特にタイヤ交換は力が必要で苦戦しましたが、チームで協力し達成できました。

たくさんの専門工具に触れることができ、タイヤの仕組みが分かって面白かったという感想をもった子どももいました。子どもたちは最後に「子どもタイヤマスター」の賞状とミニ四駆を受け取り、満面の笑みがこぼれていました。



子どもたちがタイヤの溝を測っている様子



「タイヤマスターおめでとうございます。」
「ありがとうございます！」

ドッグトレーナー（しつけインストラクター）：FUN-GOOD 様

ドッグトレーナーという通称をよく耳にしますが、実際はペットとして飼われている犬のしつけ方を飼い主さんに教える仕事で「家庭犬しつけインストラクター」と呼ばれています。講師の村田先生が「なぜしつけインストラクターになったのか」や「犬の行動学クイズ」など、スライドでわかりやすく説明してくださり、子どもたちは真剣に聞いていました。

後半は先生の愛犬に登場していただき、しつけの体験です。参加してくれた児童は動物好きが多く、ワンコ登場に興奮しながらも一生懸命に犬とコミュニケーションをとっていました。動物の仕事といえば「獣医」や「動物看護師」を思い浮かべる子どもが多いと思います。実際に、村田先生もそうだったそうで、進学の過程で「しつけインストラクター」を知り、「こんなに面白い世界があったのか！」と驚いたそうです。動物関連の仕事にもいろいろな職種があるということを知ってもらえるきっかけになったと思います。



スクリーンを使ってみんなで
「犬の行動学クイズ」をしている様子



「こうやって下から手を出すんだよ。」
「やってみます。」

小中学校の先生：柏崎市立小・中学校 様

スタッフとして、柏崎に勤務する青年教師8名によって午前、午後各2体験を、4名ずつの先生方で分担して行っていただきました。体験内容として、朝学活、終学活の他、算数、国語、体育等の教科も交え、参加した児童が先生役をやってみる体験でした。

実際に算数の問題を出して、手を上げている人を指名したり、発言に対して褒めたりする場面もありました。また、国語の漢字を出題して丸付けをして励ましの言葉を添えながら返却する場面もあり、楽しそうに先生の体験をしていました。参加した児童のみなさんは「楽しかった」「将来はこの柏崎で教師を目指したい」という感想を述べています。今後、この地域の教育を創っていくことに向かう、とても尊い経験だったと思います。



「今日は皆さんに先生になってもらいます」
「なにをするのかな。ワクワク。」



赤ペンをもって採点をしている様子

グラフィックデザイナー：堤 由紀子 様

「商業デザイン」と「アート」の違いや、「手に取りたくなるパッケージデザインとは？」といった内容を、東京でパッケージデザインの仕事をしていた堤由紀子さんから教えていただきました。簡単な説明の後には、素材を組み合わせてパッケージデザインを作ってみました。グミのパッケージと、おせんべいのパッケージを作りました。同じ素材を使っても、それぞれ個性が出て、みんな真剣に黙々と取り組んでいました。

堤さんは柏崎出身のデザイナーで、自分がデザインしたパッケージが実際に店頭に並んだ時にはとてもやりがいを感じたそうです。参加してくれた子どもたちはみな絵を描くのが好きだったり、モノづくりが好きだったりとクリエイティブ思考のある子たちでした。堤さんは「イラストレーターになれなくてもデザイナーにはなれるかもしれない。好きなことを貫いてほしい！」とメッセージを送っていらっしゃいました。



手に取りたくなるパッケージデザインを作る方法を説明している様子



自分オリジナルのデザインを実際に作っている様子

CAD オペレーター：(株) TANAKA 様

中央町の(株)TANAKA 様にて 3D キャドオペレーターの体験を行ないました。CAD オペレーターとは PC 上で設計士やデザイナーの指示に従って図面の作成、修正、調査などを行なう仕事です。限られた時間の中で一から建物の図面を書くことは難しいので、馴染のあるジャングルジムを CAD で作成する体験を二人一組になって行いました。

簡単な説明でほとんどの小学生がマウスを上手に使い、カラフルなジャングルジムや頂上に鉄棒を設置した工夫されたモノなどバラエティに富んだジャングルジムができました。どんな仕事でも何でも体験して、楽しむ気持ちをもって経験してほしいと、スタッフさんからの経験談などを聞き、CAD に触れたことで、「建物を見る目が変わってきた」、「ゲーム感覚で 3D の建物が作れて楽しい」と話してくださいました。



「ここにマウスを動かすんだよ。」
「わかった。やってみるね。」



「この操作のやり方は・・・」
「なるほど、そうするんですね。」



柏崎で働く大人の想いにふれ 未来の柏崎をつくろう

2024 柏崎お仕事体験塾

柏崎お仕事体験塾では、たくさんの大人の方から、お仕事を紹介してもらい、体験させてもらうことができます。そして、お仕事や柏崎に対する「想い」にふれることができます。

対象 **小学4、5、6年生**



8月18日(日)

受付開始 8:30

8:45~16:00

会場 第一中学校
(柏崎市学校町5-27)

当日の流れ

8:30 受付開始

8:45~9:00
始めの会

自分のタイプを
調べてよう

9:00~9:20
お仕事タイプ診断

9:40~10:40
体験1回目

11:00~12:00
体験2回目

12:00~13:00
お昼休憩

一日で4つの仕事が
体験できます

13:20~14:20
体験3回目

14:40~15:40
体験4回目

15:40~16:00
終わりの会

当日の持ち物

・うちばき ・筆記用具 ・タオル ・飲みもの ・お弁当

保護者の方へ

お子さんが参加を希望される場合は、
右のQRコードよりお申込みください。

申込み締切は7月22日(月)です。



なお、当日の参加人数は100名程を想定
しています。申込み多数の場合は抽選させていただきます。

8月4日(日)までに参加可否のメールを送信いたし
ますので、ご確認ください。

*当日の保護者の同伴はご遠慮ください。(原則)

*広報などの目的で写真撮影をいたします。写りたく
ない方は受付でお申し付けください。

お問い合わせ

柏崎お仕事体験塾 実行委員会 委員長 田中

事務局 柏崎市古町595-1 電話 0257-41-5419



ホームページ(昨年度の様子をご覧ください)

<http://oshigototaikenjuku.com/>



【主催】お仕事体験塾実行委員会 【後援】柏崎市教育委員会 刈羽村教育委員会 柏崎日报社 FMピッカラ
柏崎お仕事体験塾は、多くのサポーター様のご支援により実施できています。ありがとうございます。なおHPでサポーター様のお名前をご確認いただけます。

Partnership for Youth Education
NPO法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

柏崎お仕事体験塾は、(独)国立青少年教育振興機構より支援を受けており、子どもゆめ基金への報告のためにも写真撮影を行います。子どもゆめ基金に提出された個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

2024 柏崎で働く大人の想いにふれ 未来の柏崎をつくろう！

柏崎お仕事体験塾

体験できるお仕事の紹介

今回、お仕事を体験させてくださる14の事業所さんを紹介します。

体験しながら、お仕事のこと、柏崎のこと、いろんなことを聞いてみてね！



調理師



季節の柏崎産野菜を使ってパスタを作ります。調理の楽しさと地産地消を体験！

THERE IS NOEND



フローリスト



ドライフラワーをつなぎ合わせてガーランド(かべかざり)を作しましょう！

りとるがあでん萌 flower&cafe



介護士(A)



お部屋がお風呂に大変身！訪問入浴について、浴そうの組立から入浴方法まで紹介します。

ツクイ柏崎新田畑



介護士(B)



体のしくみや変化を学び、その人らしさを大切にしたい介護方法を体験しよう！

社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会



建築士



建物の模型を作り地震に強い建物のしくみを学びます。ステキな住宅模型作りにも挑戦します。

新潟県建築士会 柏崎支部



パティシエ



スイーツ＆ベーカリー。カフェのみりょくを伝えます！パティシエのプチ体験もお楽しみに！

(有) 綾子舞本舗タカハシ



保育士



保育士の一日のお仕事の流れを学びます。また手作りおもちゃを作ってみます。

新潟県保育士会 柏崎支部



ユーチューバー



YouTubeの規約や心得などを学び、きかく・さつえい・編集までを体験しましょう。

ダイスチャンネル



自衛隊



災害救助器材を学び、いざというときに役立つロープワーク、応急たんかを体験しましょう。

自衛隊新潟地方協力本部柏崎地域事務所



農業用機械販売



スマート農業で活やくしているドローン、ラジコン草刈り機などにふれてみよう。

ヤンマーアグリジャパン(株)柏崎支店



書道講師



好きな言葉を選んで、書道でかっこいいポスター作りに挑戦しよう！！

きらきら書道教室／かな書道教室



自動車整備士



タイヤマスターになれるよう3つの試験に挑戦します！

新潟県自動車整備柏崎地域協議会



ドッグトレーナー



犬のしつけインストラクターの仕事内容の紹介や、クイズに挑戦しましょう。

FUN-GOOD



小中学校の先生



先生役をすることで、楽しさ、やりがい感を体験します。

柏崎市立小・中学校



その他

この他、予定にはないお仕事を体験できるかも？！お楽しみに！

【1】参加児童の回答結果（有効回答数：103）

① 今回の体験の満足度を教えてください。

大変満足	満足	普通	不満	大変不満
85名（82.5%）	15名（14.5%）	3名（2.9%）	0名（0%）	0名（0%）

② 今回の体験で将来役に立つことができましたか。

たくさんあった	あった	普通	なかった	全くなかった
65名（63.1%）	18名（17.4%）	18名（17.4%）	2名（1.9%）	0名（0%）

③ 体験前と体験後で気持ちに変化はありましたか。

あった	なかった	無記入
69名（66.9%）	30名（29.1%）	4名（3.8%）

④ 将来柏崎刈羽で働きたいと思いますか。

とても働きたい	働きたい	どちらでもない	あまり働きたくない	働きたくない
42名（40.7%）	22名（21.4%）	35名（34.0%）	3名（2.9%）	1名（1.0%）

【 実行委員会 考察 】

本年は昨年続き、「いろいろな職業に就いている大人の思いに触れることで、勤労観・職業観について学ぶことと、楽しいだけではなく学びある時間にするすることで、自分の将来について考える機会を提供すること」を主眼に置いての開催とさせていただきました。

本年は子どもたちが職業選択をしやすくなるように、事業実施前にお仕事タイプ診断を行いました。初めての取組だったため、改善点は多々ありますが、子どもたちがどんな職業に就くのが自分に合っているのかを考えるきっかけになったと考えます。

また、参加した子どもたちは本事業について非常に満足しているように思いますし、子どもたち本人にとっても将来の役に立つ事業になっていると感じています。そして、将来柏崎刈羽で働きたいと思ってくれている子どもたちも6割ほどおり、非常にうれしく思いながらも、一人一人が幸せになってくれることを願いたいと考えます。

本当に多くの子どもたちが参加してくれたことをうれしく思うと同時に、より多くの子どもたちが参加できる受け入れ体制づくり、参加した子どもたちにより良い体験を届けるための仕組みづくり、参加した子どもたちの声を事業所や柏崎刈羽の皆様に届けるための組織づくりに取り組み続けていきたいと願います。

報告書に掲載しきれない子どもたちの声はホームページ上に掲載していますので、時間があるときにご覧いただければと思います。お仕事体験塾は、今後も柏崎刈羽の未来を創る子どもたちを育てるために、活動を継続していきますので、これからもよろしくお願いします。

【2】参加児童の保護者の回答結果（有効回答数：64）

① 「柏崎お仕事体験塾」はお子様の将来に役に立つと思いますか。

役に立つ	どちらともいえない	役に立たない
60名（93.8%）	4名（6.2%）	0名（0%）

② 「柏崎お仕事体験塾」は柏崎市・刈羽村にとって価値ある事業だと思いますか。

価値ある事業だと思う	どちらともいえない	価値ある事業ではない
63名（98.4%）	1名（1.6%）	0名（0%）

③ 「柏崎お仕事体験塾」の体験前と体験後で、お子様の様子に変化はありましたか。

あった	なかった
37名（57.1%）	27名（42.9%）

④ 子どもたちに将来柏崎市、刈羽村で働いて（生活して）欲しいと思いますか。

働いてほしい	どちらともいえない	働いてほしくない
18名（28.1%）	43名（67.2%）	3名（4.7%）

【 実行委員会 考察 】

本年は初めて保護者の皆様にもアンケートを行いました。これまでは子どもたちと出店してくれた事業所様だけでしたが、本事業に子どもたちが参加するためには、まずは保護者の皆様からの賛同をいただくことが非常に重要だと考えたからです。

いただいたアンケート結果からは本当に多くの方が、本事業の価値を感じていただけていると思いますし、参加した子どもたちが家に帰ってから事業内容のことを話す姿や、将来のことを考えるきっかけになったとのお声をたくさんいただき、本当にうれしく感じています。

また、自由記述にて本事業の改善点をお伺いしたところ、やはり「子どもが体験したい職業が体験できなかった」の声が多くありましたが、本事業始まってからの課題となっており今後も改善していきたいと考えています。ほかにも実行委員会でも気が付かないようなご指摘もあり、来年以降の開催の際には保護者の皆様のご意見も取り入れた形にしたいと考えています。

子どもアンケート同様に、報告書に掲載しきれない声はホームページ上に掲載しておりますし、いただいた質問に関しても可能な限り回答させていただいておりますので、お時間あるときにご覧いただければと思います。

【3】協力事業所の回答結果（有効回答数：14）

① 今回の体験の満足度を教えてください。

大変満足	満足	普通	不満	大変不満
9名（64.3%）	4名（28.6%）	1名（7.1%）	0名（0%）	0名（0%）

② 将来役に立つ体験をさせてあげられましたか。

大変あった	あった	普通	なかった	全くなかった
7名（50%）	3名（21.4%）	4名（28.6%）	0名（0%）	0名（0%）

③ 体験前と体験後で子どもの様子に変化はありましたか。

あった	なかった
14名（100%）	0名（0%）

【 実行委員会 考察 】

協力事業所のみなさんのアンケート結果をみると、昨年同様高い満足度となっており、現在の抽選会方式を導入したおかげで各体験に子どもたちが均等に割り振られる仕組みは事業所の皆さんにとってもよい形式になっているのではないかと考えています。

二つ目の設問の「役に立つ体験をさせてあげられたのか。」については、例年「こんな体験でよかったのかな」という不安からの低い結果となっておりますが、毎年子どもたちの声を事業所の皆さんにお届けすることで、安心していただけるのではないかと思います。詳しくはHPに掲載しておりますので、お時間のある際にご覧いただければ幸いです。

また、本年はすべての事業所さんから子どもの様子に変化を感じていただきました。本事業を行うことで、子どもに良い影響があることは実行委員会の願いであり、柏崎刈羽の未来を担う子どもたちの役に立てているのではないかとうれしく感じています。

現在の抽選方式だと子どもの数と事業所の数のバランスが重要です。各体験に7～8名ずつくらいがちょうどよい人数で、出店事業所側の満足度にもつながっていると考えています。子どもの参加数を増やすと同時に多くの出店者に集っていただけるように努めていきたいと考えています。

今後も、本年の反省点を生かし、来年以降もより良い事業を実施することを通じて、働く大人の想いにふれ、柏崎刈羽の未来を創る人材・柏崎刈羽を愛する子どもたちの育成に努めていきたいと考えています。

お仕事体験塾は初めての実施から 11 年が経過し、これまで本当に様々なことを乗り越えて継続して行うことができました。本事業は特に保護者の皆様や教育関係の方からのご理解をいただきながら行うことが前提であるため新型コロナウイルスの影響は多大なるものでしたが、本年はお仕事体験塾本来の形式での開催ができていることを、本当に感慨深く感じています。

本年の新たな取り組みとしては事業実施前にお仕事タイプ診断の時間を導入しました。初めての取り組みのため改善点は多くあるものの、子どもたちが自分の職業選択をする際の参考に、ただ好きな職業だけを体験するのではなく、自分の適性に合った職業を考えて体験するため、職業選択の幅が広がったのではないかと考えます。

また、本年は初めて保護者の皆様にもアンケートをさせていただき、想像していたよりも多くの方からご回答をいただくことができ、様々なご意見とご指摘をいただくことができました。多くの保護者の皆様から「今後も継続してほしい」とお声をいただき、本当にこれまで事業を継続してきて良かったと思いますし、今後は皆様のお声を可能な限り事業に反映してまいります。※いただいたご意見、質問はホームページ上で回答しております。

地域の大人たちが連携して勤労観・職業観を子どもたちに伝えることで、子どもたちには「柏崎刈羽で働きたい」「柏崎刈羽の役に立ちたい」と、働くことへの意欲と社会貢献への心が間違いなく育まれています。アンケート結果から読み取れる通り保護者の皆様としては「働く場所よりも、子どもの幸せが最優先」であることは重々承知の上、「可能であれば近く生活してほしい」という気持ちがあることもまた事実だと思います。

本事業を通じて地元で働く大人の後ろ姿や仕事への自信、やりがいを伝えることは、「ぼくの町にはこんなすごい大人がいるんだ」「わたしもこんな仕事に就きたい」と、**柏崎刈羽に愛着と誇りを感じ、未来の柏崎を創る子どもたちの柏崎愛・刈羽愛**につなげると同時に、「好きな職業に就きたい」「地元で働きたい」という気持ちが育つことを願っています。

お仕事体験塾実行委員会

実行委員長	田中 有人				
実行委員	猪爪 拓也	岩間 一博	小田麻由美	小野 和也	
	岸 剛史	近藤多計夫	清水 淑子	須田 有希	
	種岡 和人	前澤佳奈子	山田 智	山田 大介	
	若林 勝				(以上 14 名)

私たち実行委員会は「お仕事体験塾」の活動を通して子どもたちが郷土に愛着と誇りを持ち、働くことの意味を実感し柏崎刈羽の未来を創るすばらしい人材となってくれることを願っています。この報告書をもとに「お仕事体験塾」を発展、進化、継続させていくことができるようお願いしながら、今後も活動を続けてまいります。